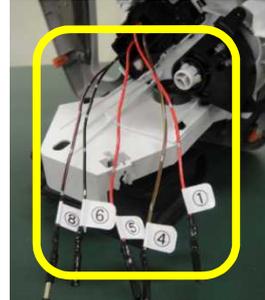


【問題1】留意事項（1/2）

1. ブロワ・スイッチ各端子間の導通点検では、点検用ハーネスを使用して点検すること。（下図参照）
※点検作業時は、ハーネスが抜けないように注意すること。なお、作業時にハーネスが外れた場合、受験者が取り付けること。

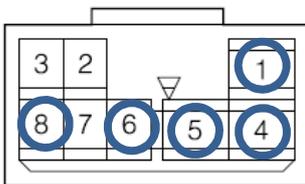
(図)



[点検用ハーネス]

2. ブロワ・スイッチの端子配列は、下図のとおりである。

(図)



点検用ハーネスの端子番号とそれぞれ同じ

3. ブロワ・スイッチの操作は、下図のとおりである。

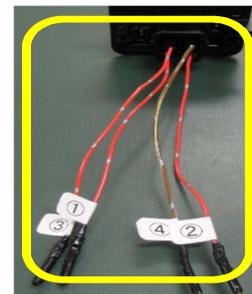
(図)



[ブロワ・スイッチ]

4. ブロワ・レジスタ各端子間の抵抗測定では、点検用ハーネスを使用して点検すること。（下図参照）
※点検作業時は、ハーネスが抜けないように注意すること。なお、作業時にハーネスが外れた場合、受験者が取り付けること。

(図)



[点検用ハーネス]

5. ブロワ・レジスタの端子配列は、下図のとおりである。

(図)

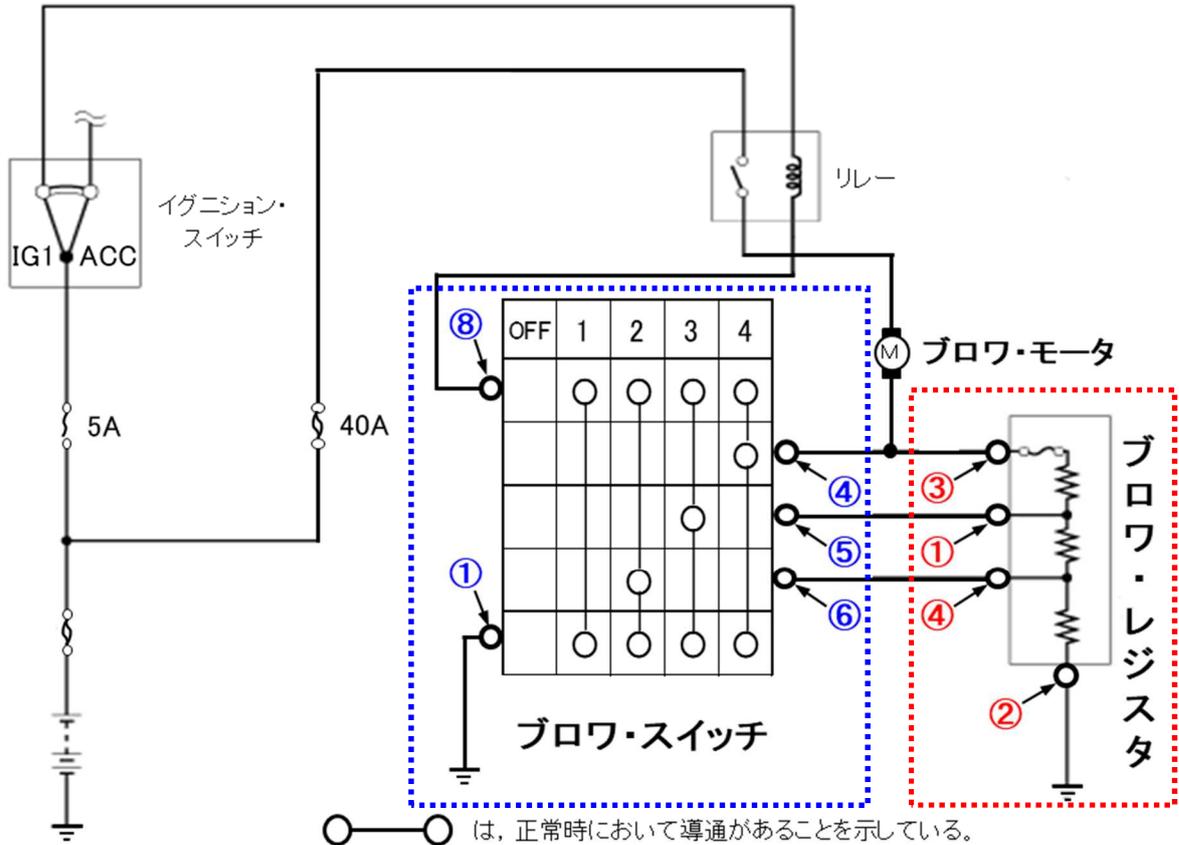


点検用ハーネスの端子番号とそれぞれ同じ

【問題1】留意事項（2/2）

6. ブロワ・モータ作動用の回路図は、下図のとおりとする。なお、問題と関係のない部分はあらかじめ省略している。

(回路図)



	測定する端子	標準抵抗値
ブロワ・レジスタ	① ⇔ ③	± 0.5 Ω
	① ⇔ ④	± 0.5 Ω
	② ⇔ ④	± 0.5 Ω

【問題2】留意事項（1/2）

1. バルブ・ボデー部の構成部品は、図1のとおりである。

図1 各バルブ位置及び構成部品 ★は測定対象を表す

①	プレシャ・レギュレータ・バルブ・リテーナー
②	プレシャ・レギュレータ・バルブ・ストッパープラグ
③	プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリング
④	プレシャ・レギュレータ・バルブ
⑤	パイロット・バルブ
⑥	パイロット・バルブ・スプリング
⑦	パイロット・バルブ・リテーナー
⑧	ロックアップ・コントロール・バルブ
⑨	ロックアップ・コントロール・バルブ・スプリング
⑩	ロックアップ・コントロール・バルブ・リテーナー

2. 各バルブの装着は図2のとおりである。

図2 各バルブの組み付け

3. スプリングの標準値は以下の通りである。

スプリング	標準値	
	外径	自由長
(1) プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリング	±0.1mm	±0.3mm
(2) パイロット・バルブ・スプリング	±0.1mm	±0.3mm
(3) ロックアップ・コントロール・バルブ・スプリング	±0.1mm	±0.3mm

【問題2】留意事項（2/2）

4. プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリングの外し方

- (1) プレシャ・レギュレータ・バルブ・ストッパープラグを指で押し、リテーナーをマグネット・ピックツールを用いて外す。

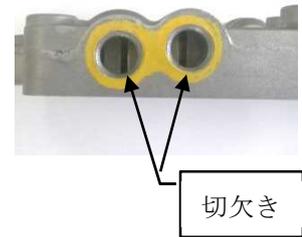


- (2) プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリングをピックツールで取り出す。



5. パイロット・バルブ・スプリング及びロックアップ・コントロール・バルブ・スプリングの外し方

- (1) リテーナーの切欠き穴から、専用治具を当てて、スプリングを押し、リテーナーをマグネット・ピックツールを用いて外す。



- (2) スプリングをピックツールで取り出す。

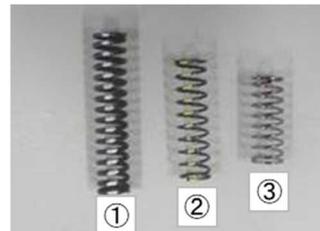


6. プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリングの取り付け方

- (1) プレシャ・レギュレータ・バルブ・スプリング，プレシャ・レギュレータ・バルブ・ストッパープラグの順で，バルブ・ホールに入れる。
- (2) プレシャ・レギュレータ・バルブ・ストッパープラグを指で押し，リテーナーをはめる。

7. パイロット・バルブ・スプリング及びロックアップ・コントロール・バルブ・スプリングの取り付け方

- (1) 交換が必要な場合は，机上にある交換用のスプリング3個の中から適切なものを選びバルブ・ホールに入れる。



- (2) スプリングを専用治具で押し，リテーナーをはめる。



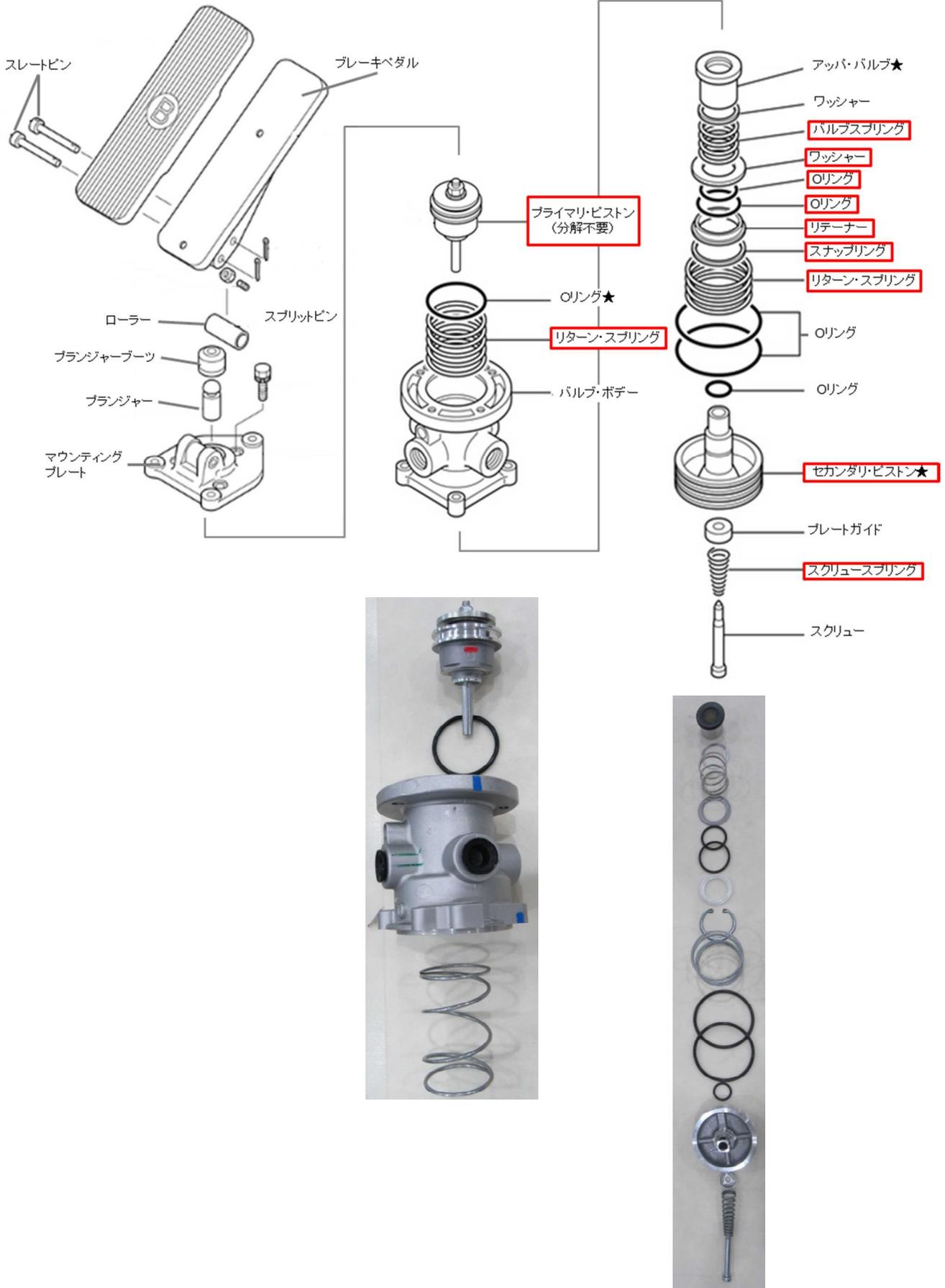
【問題3】留意事項（1/2）

※保護メガネを着用すること

1. ブレーキ・バルブの構成部品は、下図の通りである。

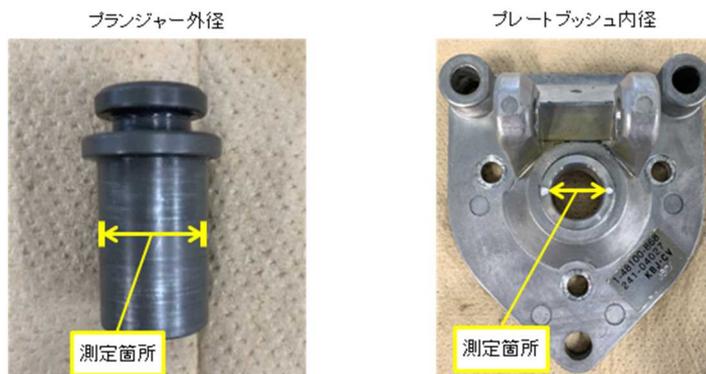
※分解時、 の部品の飛び出しに十分注意すること。

「★」は測定対象を表す。



【問題3】留意事項（2/2）

2. プランジャー外径，プレートブッシュ内径の測定位置は，次のとおりである。



標準すき間量 ±0.1mm

3. バルブ・ボデー部を分解する。

分解にあたり，内容品の飛び出し防止のため，下記要領で作業を進めること。

- (1) バルブ・ボデーのセカンダリ・ピストン側を上方に向けて作業を進める。
- (2) スクリュー取り外し後，プライマリ・ピストンが下部に出てきた状態においても，セカンダリ・ピストン側が上方に飛び出す可能性があるため，十分留意しながらセカンダリ・ピストンを取り外す。

